



鮭とともに生きる

今治市地域おこし協力隊 麦島 康友



今治市との出会いと移住の思い

多くの助けと漁業との出会い

愛媛県今治市と広島県尾道市の島々を結ぶ「しまなみ海道」、その中で一番大きな島「大三島」で活動をしている、麦島康友です。

神奈川県横須賀市出身。アメリカ文化のイメージが強い横須賀ですが、私が生まれ育った環境は海、山がすぐ隣にあり、ハンバーガーよりも魚のほうがなじみ深い生活でした。前職では都内で不動産賃貸営業をしており、多くの方の新生活というターニングポイントに立ち会いました。そして私自身も2018年4月今治市地域おこし協力隊就任という大きなターニングポイントを迎え、今に至ります。



しまなみ海道と養殖いかだ

私にとって今治市とはそれまでの人生で全く接点の無い存在でした。移住先の選定にはただ一つ「島暮らし」というものが私の中にあり、そこから「島」↓「瀬戸内海」↓「しまなみ海道」と連想ゲームのように出てきたのが今治市でした。

一度決めたことを曲げることが嫌いな性格の私、こんな感じで移住先はすんなり決まりました。しかし、10年以上勤めた企業を辞め、移住することには大きな不安がありました。地域おこし協力隊としての任期は最長3年。その先の生活は自力で切り開かなくてはいけません。

その不安の裏には「もう企業に雇われたい」と決めていたことがあります。これは企業勤めが嫌というわけではなく、自分がこの土地にきた意味や行動の証みたいなものを、自分の手で形として残したいと思っていたからです。そして、協力隊3年間のゴールを自ら生業を確立することに設定しました。

このように偉そうなゴールを決めた割には、具体的に何をしようというものはありませんでした。今治市の協力隊はフリーミッションで何をやるかは隊員に委ねられます。

もともと海の近くで育った私は、海での仕事に興味があったため、現在、養殖業を中心に、海に囲まれた大三島を海から活性化したいと活動をしています。この養殖業との出会いは多くの方の助けにより実現しました。配属支所の職員、支所長より漁協の紹介を受け、それを漁協が快く受け入れていただき、漁業関係者からの指導やサポート、地域の方の応援。どれも欠いても今の私はありません。感謝をしきれないほどです。

事業としての養殖業

しかし、島で養殖業はほぼ行われていないのが現状です。そのほかの漁業も高齢化が進み、漁業のみで生計を立ててい



る人はいません。実際に周りからは、「漁業はもうからない」という声がほとんどでした。しかし前述したように曲げることが嫌いな私は逆に「何としても漁業をやってやる」と密かに心に思いました。

私の養殖のメインは「銀鮭」になります。瀬戸内海では珍しく、この地域では今までにない商品です。この地域では「真鯛」「牡蠣」の養殖がメインで行われています。しかし、私のように既存設備もなく新しく事業を始める者にとって、他と同じものをもってうまくはいかないと考えました。数でも経験でも負けてしまします。

「漁業はもうからない」とこの言葉は私にとって「今まで」の漁業はもうからない」と聞こえました。言い換えれば「新しい漁業」はもうかる」まさに漁業ドリー



瀬戸内海を泳ぐ銀鮭



銀鮭の受け入れをする

ムです。全ては自分の捉え方次第であり、プラス思考で物事を考えることが大切だと思います。しかし、このプラス思考の裏には多くの「不安」が隠れています。「実現できるか」「売り上げは」「生活できるか」など、地域で新たな事業を作ろうと考える人に共通する不安だと思います。

この不安を減らす方法は人それぞれだとは思いますが、その中で私は、自分の考えを整理する方法をとりました。その一つがビジネスコンテストへの応募です。生業を作る者にとっていつかは必ず事業プランを整理する時が来ます。それならば、あわよくば賞金も出るコンテストを利用しない手はない！そんな気持ちで始めました。

今まで自分の頭の中だけで考えていたことを、実際に書き出し、数字に起こし、第三者に評価してもらおう。いざ作業を行ってみるとわからないことだらけで四苦八苦。セミナー受講や先輩創業者に話を聞いて手探りで進めていきました。結果として愛媛県主催のEGFA



島で養殖された鮭を利用した燻製商品

ワードにて最優秀賞を受賞することができました。賞の受賞よりも、自身の頭の整理、問題点の洗い出し、各種創業サポートなど、自分の考えが事業として動き出したことが、とても大きな機会となりました。



ビジネスコンテスト受賞の様子

地域とお金のバランス

生業を起こして地域で生活するうえで、私が考える大切なことは「継続する」ということだと思えます。一過性のもものでは終わらず、この先10年20年、創業者がいなくなつた後も続くことが大切だと考えます。そのためには地域との密接な関係を築くこと、地域貢献を行うことは外してはならないことだと考えます。多くの方は同じ考えではないでしょう。私はそれに加え「売上」も大切な要素になると考えています。地域おこしという立場上お金のことを後回しにしがちではありますが、事業を継続するうえで売上も外してはならない事だと思えます。地域で生業を起こし継続していくうえで、社会性とお金のバランスは都会での事業よりも大切になると考えています。